Japanese Institute of Landscape Architecture

日本造園学会九州支部鹿児島大会

【都市の風格・風景・個性】

かなたの自然と身近な共生景観

■主　催：(社)日本造園学会九州支部，(社)日本造園学会
■共　催：(財)都市緑化機構
■後　援：国土交通省九州地方整備局，環境省九州地方環境事務所，
鹿児島大学，鹿児島県，鹿児島市，(社)日本都市計画学会九州支部
■協　賛：(社)ランドスケープコンサルタンツ協会九州支部
(社)日本造園建設業協会九州支部
(社)鹿児島県造園建設業協会
(社)日本植木協会鹿児島県支部
(社)日本公園施設業協会九州・沖縄支部
(社)日本樹木医会鹿児島県支部
■協　力：第28回全国都市緑化かごしまフェア実行委員会事務局

日本造園学会九州支部鹿児島大会

大会テーマ：都市の風格・風景・個性
コンセプト：かなたの自然と身近な共生景観

九州新幹線鹿児島ルートの全線開業に合わせて、九州各地で魅力ある都市づくりが求められており、緑豊かなまちづくりはより一層重要な役割を担うべき時に来ています。

魅力ある都市づくりは、自治体だけでなく、地域の自治会、ボランティア、ＮＰＯ、企業など市民の役割が必要不可欠であり、様々な団体グループが連携・協力しながら都市景観の向上を進めなければ、継続的な魅力ある都市づくりは実現できないと考えています。

そこで本大会は、各地における生物多様性、自然回復などの課題や、花や緑を通したまちづくり等の身近な活動事例を対象として、その活動を通した街の魅力向上や地域の活性化の事例を広く市民に知ってもらい、更なる緑豊かなまちづくり活動につなげる機会としたいと思います。

また、上記コンセプトに併せ、造園的視点も含め、都市の品格や将来おける花緑豊かなまちづくりのあり方について、市民と一緒に考え、議論し合うこととしたいと考えています。

表紙写真：甲突川河畔緑地帯の“風の道”

都市部の気温がその周辺の郊外部に比べて異常な高温を示す現象はヒートアイランドといわれており、高温により自然環境が影響を受け、住民の生活や健康にも影響を及ぼすことから、近年問題視されています。

緩和策として太陽光の吸収量を減らす、排熱を減らす、冷却効果を高めるといった方策が採られています。

鹿児島市においては、市街地中央部のヒートアイランドを分断するように甲突川が流れ、更には、両岸の河畔緑地帯と合わせて先人たちの知恵による“風の道”が形成されています。

“風の道”は、河川と緑地帯がセットになったとき最も効果が現われるといわれています。錦江湾の冷たい海風を都市の中心部に導き入れるこの“風の道”を都市の四方八方にめぐらすことが、現在鹿児島市が推進している屋上緑化や軌道敷の緑化とともに継続的な魅力ある都市づくりの実現につながると考えられています。

大会プログラム

本誌9～10ページの会場案内図とあわせてご覧ください。

＜第１日目＞　５月７日（土）　鹿児島大学共通教育棟２号館			
10:00～	受　付		
10:30～11:30 (214号教室)	幹事会		
11:30～12:00 (215号教室)	総　会		
12:00～13:00	昼　食		
13:00～13:30 (213号教室)	話題提供 「日本の自然　鹿児島の自然」 **講師：小野寺浩氏**(鹿児島大学学長補佐)		
13:40～17:20 (212,213号教室)	研究事例報告会	13：40～16：35	口頭発表
		16：50～17：20	ポスター発表（交流スペース）
17:30～18:20 (213号教室)	ランドスケープ遺産ワークショップ		
18:30～ (郡元南食堂(エデュカ))	交流会（交流会時に、優れた研究･事例報告を表彰します。）		
＜第２日目＞　５月８日（日）　吉野公園　花かごしま2011ステージ			
9:30～	受　付		
10:00～10:45	基調講演 テーマ「生態環境都市の実現」 **講師：涌井史郎氏**（東京都市大学教授）		
10:45～12:30	シンポジウム　テーマ「花と緑　鹿児島新時代」 **コーディネーター**　**小野寺浩**　鹿児島大学学長補佐 **パネリスト**　**岡野隆宏**　鹿児島大学特任准教授 **落司ひとみ**　NPO 法人ﾛｰｽﾞﾘﾝｸﾞかのや理事 **賀来宏和**　全国都市緑化かごしまフェア アドバイザー **柴さとみ**　南日本放送リポーター **間世田武裕**　(社)鹿児島県造園建設業協会会長 **涌井史郎**　東京都市大学教授 (50音順)		
12:30～13:15	昼　食		
13:15～15:00	会場視察	13:15～14:00	メイン会場
		（移動約３０分（バス利用））	
		14:30～15:00	サブ会場
15:00	視察終了後解散 メイン・サブ両会場とも、鹿児島中央駅までバス利用		

鹿児島大会に寄せて

まずは、この度の東日本大震災で被災された方々に心からお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈りし、九州から可能な限りの支援をしたいと希望しております。

さて、日本造園学会九州支部の鹿児島大会は、「都市の風格・風景・個性」を大会テーマに掲げ、花や緑を通し、まちの魅力向上や地域の活性化につなげる契機となるように企画されました。例年であれば、春の全国大会を考慮して、秋の開催が習わしでしたが、第28回全国都市緑化かごしまフェア「花かごしま2011」（3月18日から5月22日まで66日間）と、九州新幹線全線開業（3月12日)を祝し、これらに合わせて5月に開催することになりました。

ところで、この一年、南九州では、口蹄疫、新燃岳の噴火、鳥インフルエンザ等の大きな災難が続き、やっと落ち着きを見せた矢先に、3月11日、東日本に巨大規模の地震と津波により、未曾有の災害が発生しました。さらに、安全神話が脆くも壊れた福島原発による世界をも震撼させる放射能汚染と電力不足によって、経済活動の停滞を招き、戦後最大の国難に直面することになりました。

私たちは、様々な科学技術を駆使して、半世紀以上の昔には想像できないような豊かで便利な暮らしができる時代を迎えています。しかし、今回の一連の自然の脅威は、自然に対して人々の不遜な態度を戒めて、もっと謙虚な態度で臨むことを悟らせているようにも思われます。

森林や緑は、あらゆる生物の生存にとって不可欠な生態系であり、もっと自然と共存していかなければなりません。生物多様性の重要性や、自然回復への取り組みが強く求められています。造園とは、この自然への憧憬を表象するものであり、自然と謙虚に向き合う心を醸成する大切なきっかけとなるものです。

現在、造園学会では、全国にある隠れたランドスケープ遺産を洗い出す作業に着手しています。九州支部では、これに呼応して、九州独自の自然、歴史、文化を継承する造園および景観についてインベントリー調査を行い、未来へ引き継ぐことを計画しておりますので、皆様のご協力をお願いします。

最後になりましたが、今回の鹿児島大会は、開催決定から開催までの準備期間が短く、さらに緑化フェア等の準備でご多忙の中にも拘わらず、周到な準備をして開催に漕ぎ着けられました大会実行委員会委員長を始め、事務局の皆様のご苦労を労い、感謝申し上げ、お礼の言葉とします。

平成23年5月吉日

日本造園学会九州支部長
矢　幡　　久

基調講演：「生態環境都市の実現」

東京都市大学・環境情報学部・教授
中部大学・応用生物学部・教授
桐蔭横浜大学・工学系研究科・客員教授
東京農業大学・客員教授

出身校
東京農業大学農学部造園学科　中退

講師プロフィール

涌井　史郎（雅之）（わくい　しろう（まさゆき））

【主な職歴】

1972年　株式会社石勝エクステリア　代表取締役（現在　相談役）
2003年　2005年日本国際博覧会・会場演出総合プロデューサー
2003年　（社）日本造園学会　監事
2007年　（財）緑の地球防衛基金常任理事
2009年　（社）日本生態系協会顧問就任

【主な作品等】

2005年日本国際博覧会愛知県出展記念日本庭園監修
久保田一竹美術館庭園計画・監修
桐蔭学園メモリアルアカデミウムランドスケープ設計・監修
長崎オランダ村それに続くハウステンボス
東急宮古島リゾート等々のリゾートの計画
都市から過疎農山村に至る迄幅広く「景観十年、風景百年、風土千年」と唱え、人と自然の空間的共存を図る造園技術をベースに数多くの作品や計画に携わっている。

【受賞等】

1974年５月　東京農業大学「造園大賞」受賞
1993年５月　日本造園学会「日本造園学会賞」受賞
　　日本造園修景協会「下山奨励賞」受賞
2001年７月　国土交通大臣表彰　受賞
2005年５月　黄綬褒章　受章
2010年５月　佐藤国際賞　受賞

【その他】

全日空機内誌・翼の王国「囲われたエデン」連載中
ＴＢＳ「サンデーモーニング」、大阪毎日放送「ちちんぷいぷい」等レギュラー出演中

シンポジウム：「花と緑　鹿児島新時代」

鹿児島大学学長補佐
鹿児島県参与
WWFジャパン理事

出身校
京都大学大学院修士課程修了

コーディネータープロフィール

小野寺　浩　（おのでら　ひろし）

【主な職歴】

1973年　環境庁入庁
1990年　鹿児島県保健環境部環境政策課長
1995年　環境庁九州地区国立事務所長
2000年　環境庁自然保護局計画課長
2003年　環境庁自然環境局長
2005年　退官
2007年　鹿児島大学学長補佐

環境庁から鹿児島県に出向時には屋久島の世界自然遺産登録、屋久島環境文化村構想を推進し、環境庁九州地区国立事務所長時には、阿蘇の草原保全・再生に取り組む。

環境庁自然保護局計画課長として、新生物多様性国家戦略策定、自然再生事業などを提案。環境省(庁)では国立公園事務所など現地勤務が多い。

現在は鹿児島大学で、地域からの環境論を目指す「鹿児島環境学」を提唱し、取り組んでいる。

趣味は映画、読書、タウンウォッチング。札幌市出身。

【主な著書】

「屋久島の作法」「鹿児島環境学Ⅰ、Ⅱ」　等

シンポジウム：「花と緑　鹿児島新時代」

鹿児島大学教育センター特任准教授

出身校
千葉大学大学院自然科学研究科（修士課程）卒業

パネリストプロフィール（50音順）

岡野　隆宏　（おかの　たかひろ）

【主な職歴】
1997年　環境省入庁
2003年　環境省石垣自然保護官
2005年　環境省自然環境局自然環境計画課世界自然遺産専門官
2008年　環境省九州地方環境事務所 国立公園･保全整備課長
2010年　鹿児島大学教育センター特任准教授

環境庁（現環境省）に入庁後、阿蘇くじゅう国立公園、西表国立公園で現地勤務を経験。
本省においては自然公園法の改正、世界自然遺産の管理・推薦などを担当。
2008年７月から九州地方環境事務所国立公園・保全整備課長として九州の国立公園の管理と利用施設の整備を担当。
2010年10月から研究休職制度を利用して現職。
国立公園での勤務経験を基に「自然環境の保全と活用による地域づくり」を研究テーマに勉強中。

オーエイトプラン代表
NPO法人ローズリングかのや理事
（まちづくり部会長）
NPO法人エコライフ鹿児島理事
FMかのや　監事
アースディかのや実行委員会事務局

出身校
鹿児島県立鹿屋工業高校建築科　卒業

落司　ひとみ　（おとし　ひとみ）

【主な職歴】
平成 8年　2月　オーエイトプラン（建築設計事務所）設立
現在に至る

【主な役職】
鹿児島県建築士会　女性部会　副会長
マリンポートかごしま在り方検討委員会委員
鹿児島県入札監視委員会　委員
鹿屋市「元気なかのや」づくり会議　委員　等

シンポジウム：「花と緑　鹿児島新時代」

グリーンダイナミクスグループ　代表
株式会社グリーンダイナミクス　代表取締役
千葉大学大学院客員教授

出身校
千葉大学大学院園芸学研究科　修了

賀来　宏和　（かく　ひろかず）

【主な職歴】
1979年　建設省入省
1992年　建設省退官

【所属】
英国王立園芸協会日本支部理事
NPO法人日本園芸福祉普及協会理事
日本市民農園連合監事
日本都市計画学会会員
日本造園学会会員　等

【主な作品等】
「浜名湖花博」総合プロデュース
神奈川県PFI事業「花菜ガーデン」総合プロデュース
平城遷都1300年記念事業ランドスケーププロデュース　等

【著書】
「みどりの都市へ」「花から華へ」　等

南日本放送リポーター
ガーデンプランナー
グリーンツーリズムインストラクター
(株)カーデンラウムシバ　代表

柴　さとみ　（しば　さとみ）

【主なテレビ番組】
ズバッと！鹿児島
どーんと鹿児島
市民のひろば

【その他】
南日本放送リポーターとして、取材を通じ、ガーデニングに興味を持つ。MBCリポーターの傍ら、(株)ガーデンラウムシバの代表として、ガーデニングを通してゆとりある生活スタイルを提案しています。

英国王立植物園サマースクール修了
かわべやすこ　フラワーBOXガーデニングスクール修了
山形屋文化教室、MBC学園、花かごしま2011講習会講師　等
南日本新聞社日置地区ガーデニング読者
環境事業プロデュース　等

シンポジウム：「花と緑　鹿児島新時代」

(株)桂造園　代表取締役
日本造園建設業協会鹿児島県支部　支部長
鹿児島県造園建設業協会　会長

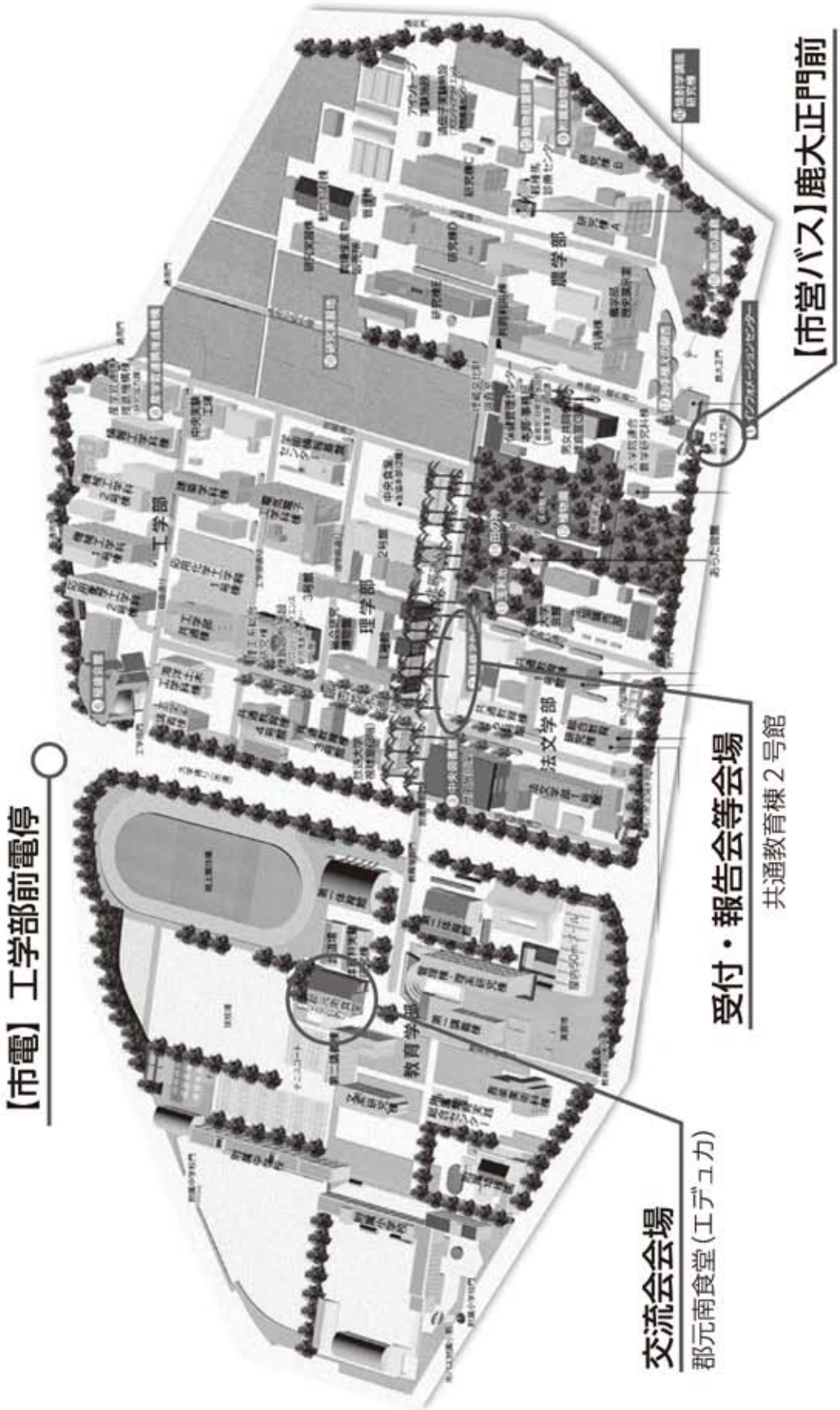
出身校
鹿児島園芸高等学校　卒業

間世田　武裕　（ませだ　たけひろ）

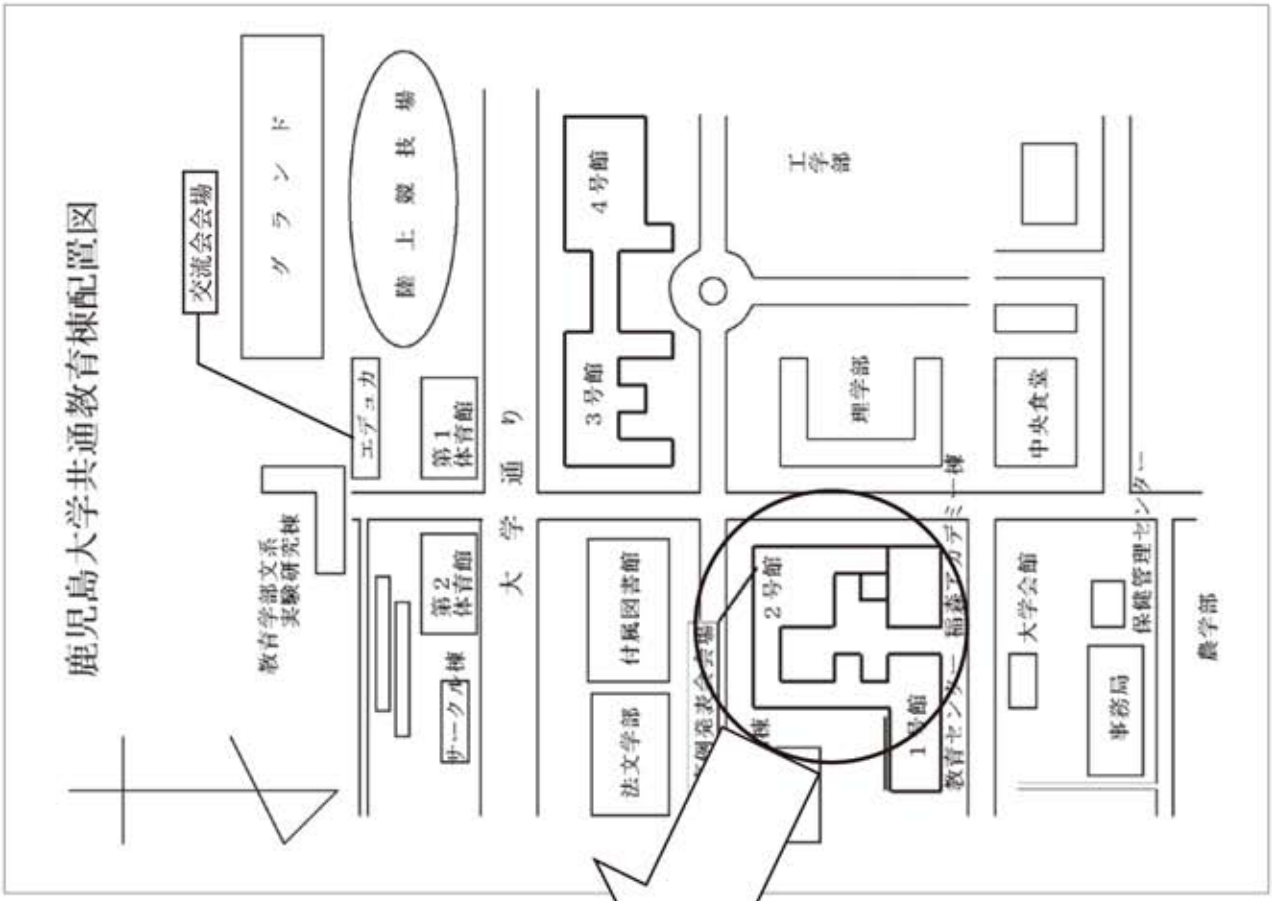
高校卒業後、京都の造園会社へ就職。
西本願寺滴翠園復元改修工事、京都御所仙洞御所・修学院離宮庭園管理、桂離宮復元改修と庭園管理、醍醐三宝院復元改修工事等、文化財である名園の管理や復元改修工事等に携わり、数多くの文化財や名園に学ぶ機会があり、「日本の文化を未来の生活環境造りに」をテーマに、1966年３月 鹿児島市にて桂造園を創業。大自然そのものに巧み意匠をもって独自の技法を用い、現代のニーズにあった侘び・寂びの薫りのある庭園造りを特技とし、現在は、後継者育成をしている。

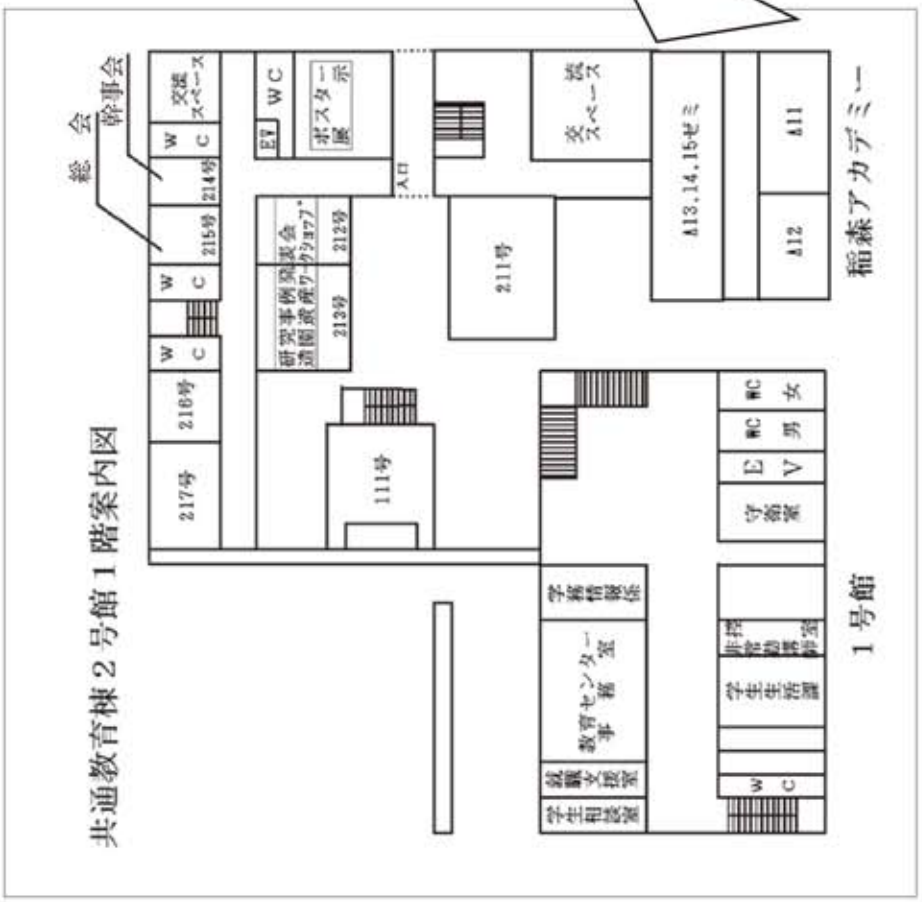
鹿児島市　磯庭園
写真提供：鹿児島県観光連盟

会場案内図：大学構内全体図



会場案内図：共通教育棟2号館





◇平成23年度
日本造園学会九州支部鹿児島大会実行委員会事務局
〒890-0063
鹿児島市鴨池2丁目30-8　鹿児島県老人福祉会館3階
(社)鹿児島県造園建設業協会内
TEL:099-251-0180　FAX:099-251-0206

◇(社)日本造園学会
HP：http://www.landscapearchitecture.or.jp/dd.aspx

◇(社)日本造園学会九州支部
HP：http://www.qzouen.jp/